

日時・場所	令和5年7月31日（月）9時00分～ 庁議室
出席者	栢木市長、佐野副市長、西村教育長、遠藤議会事務局長、布施政策調整部長、川尻総務部長、長尾市民部長、武内市民部政策監、吉田健康福祉部長、田中健康福祉部政策監、駒井健康福祉部政策監、岡崎都市建設部長、西村環境経済部長、馬野教育部長、事務局

1. 開会

<市長挨拶>

- 昨日は第58回滋賀県消防操法訓練大会が開催され、野洲市消防団は小型ポンプの部に出場し、4位入賞だった。炎天下での競技をねぎらうとともに、来年は優勝めざしてさらに頑張ってもらいたい、と激励した。
- 世界水泳で2大会連続アーティスティックスイミングソロ2冠の乾友紀子選手に滋賀県民栄誉賞が贈られると報道があった。近隣市でも、スポーツで功績のあった市民や市にゆかりのある人を称える賞があるので、本市でもそういった制度の導入を検討していきたい。

2. 議題

【審議事項】

①わたSHIGA輝く国スポ・障スポ野洲市庁内推進会議について

わたSHIGA輝く国スポ・障スポについて、全庁的な取組として効率的に推進するため、本市が開催する競技会の準備その他国スポ・障スポの開催に関する事務事業を円滑かつ総合的に推進できるよう「わたSHIGA輝く国スポ・障スポ野洲市庁内推進会議」を設置する。

→わたSHIGA輝く国スポ・障スポ野洲市庁内推進会議のうち、次長級で構成される組織の名称が幹事会ということに違和感がある。また、庁内推進会議の事務局長は、担当政策監が務める方が妥当だと思う。

→組織構成や名称については、先催県や他市事例を参考に決定した。事務局長については、総合調整会議の意見を受けて内部で協議した結果、担当政策監が意思決定に加わることができるよう、委員に位置づけを行った。

→大会期間中の職員動員について、総合調整会議では会計年度任用職員も含める旨の説明があったが、会計年度任用職員は勤務条件を示した上で採用されている。職員動員について考え方が整理されているのであれば詳細な説明をいただきたい。

→詳細は詰められていない。基本的には正規職員で考えているが、足りない場合は会計年度任用職員の動員及び採用も視野に入れながら人事課と詰めていきたい。

→50年前の国体では、中高生の動員があったと思うが、今回はどうか。

→高校生については、各種目別に協会や県と今後、協議していく。小中学生については、50年に一度の大会でもあり、見聞を広める意味でも観戦で盛り上げてほしいと思っている。

②市道路線の認定について

開発行為により帰属を受けた公衆用道路を新たに認定することについて、道路法第8条第2項の規定に基づき、議決を求める。

【報告事項】

③野洲市湖岸開発株式会社の経営状況の公表について

地方自治法第 243 条の 3 第 2 項の定めに基づき、本市が出資している野洲市湖岸開発株式会社の令和 4 年度事業報告書及び令和 5 年度事業計画書を 8 月議会定例会に提出し、経営状況の公表を行う。

→一般管理費内訳書の中で、法定福利費、福利厚生費が増加している理由は。

→年齢構成のバランスをとるため、正職員を順次採用していることが主な要因と考える。

④野洲市立祇王小学校の近隣民家の自家用車損傷事故について

祇王小学校の除草作業中、飛び石により近隣民家の自家用車の窓ガラスを損傷する事故が発生したので、概要を報告する。

3. 次回部長会議の予定

8月14日（月）9時00分～ 庁議室

4. 閉会